

# 交流のあるまちづくり

自然・町並み・文化など、長い歴史に培われた多様な地域資源に恵まれた津和野町には、年間100万人を超える観光客が訪れます。既存の地域資源を活かしながら、地域住民が中心となった新たな地域資源の発掘やグリーンツーリズム、河川を活かした交流などを推進して、交流人口の一層の拡大を目指していきます。



## ●日原天文台

口径75cmの天体望遠鏡を有し、自治体天文台ブームの火付け役となった「日原天文台」。周辺には、星と森の科学館や天文資料館、小型ドーム、テニスコート、ペンションなどもあり、豊かな自然環境の中で無数の星が繰り広げる天体ショーを心ゆくまで楽しめます。



## ●道の駅「シルクウェイにちはら」

国道9号沿い、清流・高津川に臨む道の駅。地域を代表する絹製品やワサビ、鮎製品をはじめさまざまな特産品を販売しています。そのほか手作り菓子・もち・漬物など地元産の加工食品、新鮮野菜などの産直市場が常設されています。



## ●ベルリン市中央区との交流

津和野町出身の文豪・森鷗外が留学していた縁で、平成7年にベルリン市中央区と姉妹都市縁組を結びました。この交流は東西ドイツの統合で存続危機に陥ったベルリンの森鷗外記念館の存続に向けて、町民有志が募金活動を行ったことが始まりです。学生のホームステイによる相互交流から民間による津和野町国際交流協会の設立や学校間の姉妹校提携へと、近年、交流の輪が大きく広がっています。



## ●道の駅「津和野温泉なごみの里」

地場食材レストラン、わんぱくランド、バーベキューガーデン、特産品コーナー、竹細工・わら細工・和紙人形作りなどを体験できるコーナー。天然ラドン温泉、露天風呂、体験工房など、さまざまな楽しみ方ができます。

